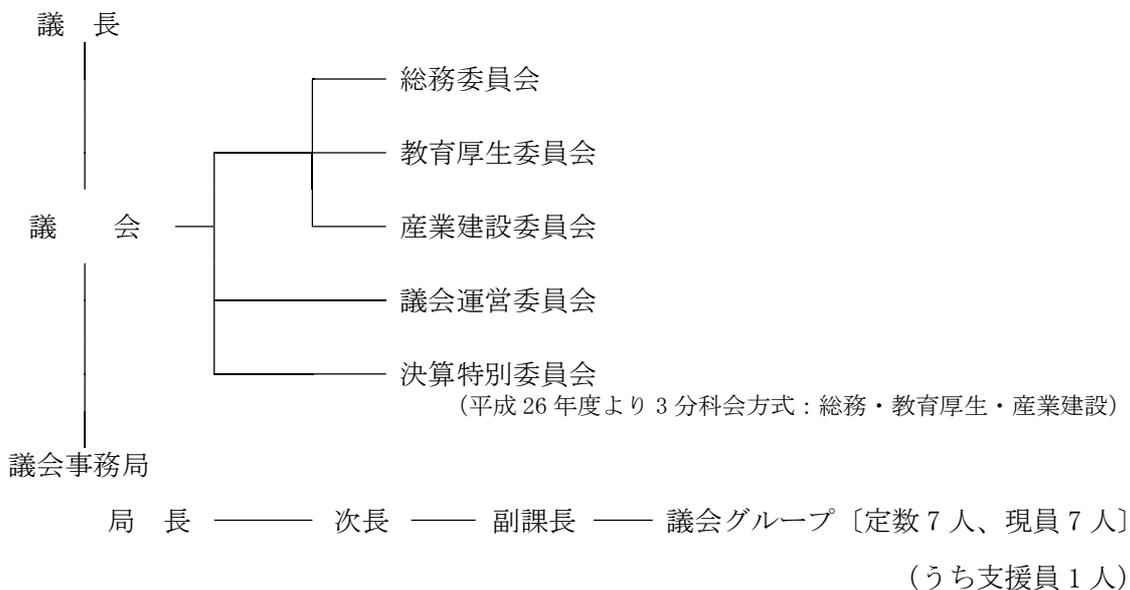


1 議会構成

(平成 30 年 8 月 1 現在)

(1) 機 構



(2) 議員数

定 数 22 人
任 期 平成 34 年 7 月 29 日

(3) 常任委員会

名 称	定数	任期	所 管 事 項
総 務 委 員 会	8 人	2 年	企画部、総務部、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
教育厚生委員会	7 人	2 年	教育委員会、市民福祉部及び福祉事務所に関する事項
産業建設委員会	7 人	2 年	産業環境部、建設部及び農業委員会に関する事項

(4) 議会運営委員会

名 称	定数	任期	所 管 事 項
議会運営委員会	6 人	2 年	議会運営、会議規則及び委員会条例等、議長の諮問に関する事項

(5) 特別委員会

名 称	定 数	設置年月日	設 置 目 的
決 算 特 別 委 員 会	20 人	平成 30 年 9 月 6 日設置	各会計決算審査

2 種類別人員調

(1) 会派別

(平成 30 年 8 月 1 日現在)

会派名	市民 ネットワーク	誠和会 (自民)	未馬会	政新会	日本共産党 議員団	志政会	諸 派
議員数	4 人	4 人	4 人	3 人	2 人	2 人	3 名

(2) 党派別

(平成 30 年 8 月 1 日現在)

党 派 名	自由民主党	日本共産党	立憲民主党	公明党	無所属
議 員 数	4 人	2 人	1 人	1 人	14 人

(3) 当選回数別 (合併前の当選回数を含む)

(平成 30 年 8 月 1 日現在)

当 選 回 数	1	2	4	5	6	8	9
議 員 数	6 人	5 人	4 人	4 人	1 人	1 人	1 人

(4) 年齢別

(平成 30 年 8 月 1 日現在)

年 齢	40 歳台	50 歳台	60 歳台	70 歳台	80 歳台	平均年齢
議 員 数	2 人	3 人	15 人	2 人	0 人	62 歳

3 議員報酬及び調査旅費等

(1) 議員報酬

区 分	現 行	
	金 額	施行年月日
議 長	465,000 円	平 18. 4. 1
副 議 長	407,000 円	〃
議 員	387,000 円	〃

議員期末手当（平成 21 年 12 月 1 日施行）

$$6 \text{ 月支給} = \text{議員報酬月額} \times \frac{120}{100} \times \frac{145}{100}$$

$$12 \text{ 月支給} = \text{議員報酬月額} \times \frac{120}{100} \times \frac{175}{100}$$

(2) 調査旅費

常任委員会調査旅費（行政視察）	議員 1 人当たり年間	100,000 円
議会運営委員会調査旅費（行政視察）	〃	100,000 円

(3) 政務活動費

議員 1 人当たり月額 60,000 円（四半期ごとに個人に交付）

4 議会モニターの設置

（平成 28 年 4 月 15 日施行）

(1) 委 嘱

9 名（団体推薦 7 名、一般公募 2 名）

(2) 活動状況（平成 29 年度）

モニター会議の開催	10 回（内、議員との意見交換会 4 回）
本会議等の傍聴日数	30 日（延人数 52 人）

5 議会活動の状況

(1) 本会議

(平成 29 年度)

期日		会期日数 (日)	本会議日数 (日)	一般質問者数 (人)	代表質問者数 (人)	出席率 (%)	傍聴者数 (人)
定例会	6月	20	6	14	—	98.48	69
	9月	21	5	11	—	100	72
	12月	22	6	13	6	98.48	27
	3月	27	6	14	—	93.94	25
臨時会	7月	1	1	—	—	95.45	1
	1月	1	1	—	—	95.45	0
計		92	25	52	6	97.45	144

期日		付議事件			処 理 状 況 (平成 29 年度)																			
		市長提出	委員会・議員提出	計	条 例				予 算		決 算		そ の 他						意見書		決 議			
					原案可決	原案否決	修正可決	継続審査	原案可決	修正可決	継続審査	認定決定	原案可決	原案否決	同意決定	承認決定	推薦決定	継続審査	原案可決	原案否決	原案可決	原案否決		
定例会	6月	10	3	13	2				1				2			6							2	
	9月	30	2	32	2				1		7		2		17	1					2			
	12月	24	1	25	3				7			(7)	9		4	1					1			
	3月	33	2	35	14				14				2		4						1			
臨時会	7月	5		5									5											
	1月	1		1					1															
計		103	8	111	21				24			7	20		25	8					4		2	

(2) 付議事件処理の状況

※ ()は前会期からの継続

期日		委員会設置・選任	許可決定等	議員派遣	選挙	請 願					報 告	
						付託件数	処 理 状 況					
							採 択	不採 択	継 続	撤 回		未 了
定例会	6月	2	4		6	1					1	7
	9月	2		1	1	4	1	3				2
	12月				1	3		3				2
	3月			1								4
臨時会	7月											0
	1月											3
計		4	4	2	8	8	1	6			1	18

(3) 委員会等開催状況

(平成 29 年度)

区 分		開 催 日 数		備 考
		委 員 会	協 議 会	
常 任 委 員 会	総 務	6	3	
	教 育 厚 生	4	0	
	産 業 建 設	6	0	
決 算 特 別 委 員 会	全 体 会	2		
	代 表 者 会	0		
	分 科 会	3 (総務分科会1 教育厚生分科会1 産業建設分科会1)		
議 員 運 営 会		開 会 中 17	閉 会 中 12	
委 員 長 ・ 会 派 代 表 者 会 議		7		
全 員 協 議 会		1		
全 員 説 明 会		6		
議 員 協 議 会		9		
議 員 説 明 会		5		

(注)「市民と議会との語る会」等は後記7に別記載

(4) 会議時間

		平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
		(時間・分)						
定 例 会	3 月	28.40	28.40	29.16	26.02	26.20	20.27	20.16
	6 月	19.35	19.35	16.04	13.52	14.24	13.28	14.52
	9 月	18.20	18.20	17.53	19.16	16.02	17.43	14.20
	12 月	19.08	19.08	20.30	15.08	19.44	14.26	19.54
	計	85.43	85.43	83.43	74.18	76.30	66.04	77.21
臨 時 会	1 月	2.40	2.40	—	1.28	—	0.25	—
	5 月	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	0.10	0.10	0.33	—	1.20	0.56	0.29
	8 月	—	—	—	1.22	—	—	—
	11 月	—	—	—	—	—	—	—
	計	2.50	2.50	0.33	2.50	1.20	1.21	0.29
総 計	88.33	84.40	84.16	77.08	77.50	67.25	69.51	

6 議会運営に関する主な事項

(1) 議案の送付

招集告示日（招集日 7 日前）

(2) 代表質問

- ・会派を代表して、市長の所信を問う立場で、12月の定例会に実施
- ・質問要旨等の通告期限は、本会議初日の午後1時を通例とし、中2日間の休会後実施
- ・発言順位は、多数会派から順次実施
- ・発言時間は、会派人数に応じて持ち時間設定
（基礎時間30分間＋会派所属議員1人当たり5分間）
- ・質問回数は、概ね1回
- ・質問形式は、一括質問、一括答弁の方法による。

(3) 一般質問（個人質問）

- ・議員個人が理事者に対し、定例会ごとに市政全般について質問を行う。
- ・質問要旨等の通告期限は、本会議初日の午後3時を通例とし、中2日間（12月は代表質問の日から中1日）の休会后実施する。ただし、代表質問のある場合は、代表質問の日の午後3時を通例とする。
- ・発言順位は、通告締切り後、会派の順から諸派の順に循環し各1議員ずつ行う。
- ・発言時間は、質問答弁を含めて50分以内とする。
- ・質問回数には制限は設けていない。
- ・質問形式は、一問一答の方法による。（旧武生市議会で平成14年6月議会から運用、理事者との対面方式採用）

(4) 議案等質疑

- ・通告制なし。
- ・発言時間は、1議題につき質問答弁を含めて30分以内とし、回数には制限を設けていない。
- ・質問形式は、一問一答の方法によることができる。（旧武生市議会で平成17年6月議会から運用、自席において理事者との対面方式採用）

(5) 予算・決算の審査方法

- ・予算審査に当たっては、一般会計は各常任委員会に分割付託し、特別会計は所管常任委員会へ付託する。
- ・決算は、決算特別委員会を設置・付託し、閉会中も継続して審査することを通例とする。（平成26年度（平成25年度決算審査）から、議長及び議会選出監査委員を除く議員で構成する決算特別委員会を設置。各常任委員会を基本とする3分科会に分かれ、各議案の審査を行い、討論及び採決については、決算特別委員会全体会にて行う。）

(6) 請願・陳情の取り扱い方法

- 請願書・陳情書は、いつでも提出できるが、審査は年4回の定例会ごとに、それぞれ提出期限を定め審査をする。提出期限は、各定例会の初日の正午。
- ・請願は、一定の要件を満たした請願書を提出すると、議長は本会議の場で、文書付託表とあわせて所管の委員会に付託する。
 - ・陳情は、要望文書を議長まで回覧し、その後、議会初日の本会議にその表題と提出者名を諸般の報告書に登載して配付する。
意見書提出を求める陳情は、各所管の委員会で行き取り扱いを審査し、了承されたもののみを各所管の委員会所属の議員名で意見書案を提出する。

7 会議録・広報

(1) 越前市議会会議録

専門会社によって録音テープから会議録を調製（逐語反訳、整文、印刷及び製本）し、関係者に配付

配付部数 50部（A4判2段組）

(2) 越前市議会だより

創刊 平成17年10月14日

発行回数 年4回

発行部数 27,400部（市内全世帯ほか）

仕様 タブロイド版・縦組（平成22年6月発刊から）

(3) 議会中継

本会議について、ケーブルテレビ放映及びインターネット映像配信を実施

ケーブルテレビ（生中継放送及び再放送。旧武生市議会は平成11年6月議会から、旧今立町議会は平成13年12月議会から開始）

インターネット（ライブ配信及び録画配信。平成24年12月議会から開始）

(4) 越前市議会ホームページ

会議録検索、議員紹介、議会や委員会のしくみ、定例会のお知らせなど、さまざまな議会情報を掲載（平成17年10月開設）

(5) 政務活動費の領収書等をネット公開

これまで市議会PHに公開していた収支報告書に加え、領収書や視察などをした後に提出する活動結果報告書もホームページに掲載（平成28年度分より）

8 議会活性化の取り組み

地方分権社会にあって、越前市が自立した行政経営を行っていくためには、二元代表制の一翼を担う意思決定機関である議会が、さらなる議会活動の活性化を図り、これまで以上に市民の代表としての責任と役割を果たしていくことが必要であることから、平成19年3月20日に、これからの時代にふさわしい議会運営等のあり方について、中長期的な観点から調査検討するため、議長の私的諮問機関として「議会活性化検討委員会」を設置し、同日、議長から、下記の7項目について諮問がなされた。

諮問事項

- 1 議会の監視機能の強化に関すること。
- 2 議会運営のあり方に関すること。
- 3 議員活動及び議会活動支援のあり方に関すること。
- 4 議会の調査、政策立案能力向上に関すること。
- 5 広報広聴活動の充実に関すること。
- 6 事務局の体制強化に関すること。
- 7 その他議会の活性化に関すること。

上記の諮問を受け、議会活性化検討委員会から議長に対し、平成19年9月4日に第1次中間答申、平成21年10月27日に第2次答申がなされ、平成22年3月議会において「越前市議会基本条例」を可決した。

具体的な取り組み事項

平成 19 年	
3 月 20 日	議会活性化検討委員会設置
9 月 4 日	議会活性化検討委員会から議長に対し、第 1 次中間答申を行う
9 月 20 日	議会の監視機能の充実強化に関する意見書の提出
9 月～	閉会中の所管事務調査の充実を図る
11 月 30 日	第 1 回議会報告会を開催（越前市福祉健康センター）
12 月 21 日	議会の議決に付すべき契約以外の契約の報告に関する条例可決制定
平成 20 年	
2 月 26 日	第 2 回議会報告会を開催（越前市生涯学習センター今立分館）
6 月～10 月	各種団体（11 団体）と議会の語る会を開催
平成 21 年	
10 月 27 日	議会活性化検討委員会から議長に対し、第 2 次答申を行う （議会基本条例素案）
11 月 13 日～	議会基本条例素案に対するパブリックコメント募集
11 月 26 日・ 12 月 15 日	市民との意見交換会開催 11/26 越前市生涯学習センター今立分館 12/15 越前市福祉健康センター
平成 22 年	
3 月 3 日	3 月議会において「越前市議会基本条例」可決
4 月 28 日・ 4 月 30 日	「市民と市議会の語る会」開催 4/28 北日野公民館・北新庄公民館・花筐公民館 4/30 越前市福祉健康センター・大虫公民館・白山公民館
6 月 3 日	6 月議会において「越前市議会議員定数条例」可決、改選後の一般選挙から議員定数を 22 名に削減
7 月 30 日	改選後の正副議長選挙において立候補制を導入し、初日の本会議前に「越前市議会正副議長立候補所信表明会」を行った
8 月 2 日	議会活性化特別委員会設置
11 月 4 日～ 11 月 17 日	「市民と議会との語る会」開催 11/ 4 武生東公民館・武生西公民館・武生南公民館 11/ 5 神山公民館・吉野公民館・大虫公民館 11/ 6 北新庄公民館・うすずみ会館・王子保公民館 11/10 坂口公民館・白山公民館・国高公民館 11/16 北日野公民館・味真野公民館 11/17 南中山公民館・服間公民館・岡本公民館
平成 23 年	
7 月 11 日	越前市自治連合会との意見交換会開催
11 月 2 日～ 11 月 9 日	「市民と議会との語る会」開催 11/ 2 越前市福祉健康センター 11/ 8 越前市生涯学習センター今立分館 11/ 9 国高公民館

平成 24 年	
5 月 30 日～ 11 月 15 日	「市民と議会との語る会」開催 5/30 武生東公民館・白山公民館 5/31 神山公民館・北日野公民館 6/ 5 南中山公民館 6/ 6 大虫公民館 8/21 吉野公民館・北新庄公民館・服間公民館 8/23 武生西公民館・坂口公民館・花筐公民館 11/13 武生南公民館・岡本公民館 11/14 味真野公民館 11/15 国高公民館・王子保公民館
12 月～	「インターネット議会中継」の導入
平成 25 年	
5 月 24 日～ 11 月 15 日	「市民と議会との語る会」開催 5/24 武生東公民館・国高公民館 5/31 岡本公民館 8/23 北日野公民館・花筐公民館 8/27 武生南公民館 11/12 味真野公民館 11/14 大虫公民館 11/15 南中山公民館
11 月 19 日	仁愛大学との懇談会開催
平成 26 年	
2 月 10 日	越前市自治連合会との意見交換会開催
3 月 7 日～	3 月定例会から、3 つの常任委員会を 1 日 1 委員会ずつ開催するとともに、開催場所を各委員会室から大会議室に変更し、より多くの市民の方が傍聴しやすいよう環境を整えた。
4 月 27 日	「市民と議会との語る会」開催（日曜日開催） 越前市生涯学習センター 【第 1 部】 講演会「被災者の体験談に学ぶまちづくり」 講 師 川崎葉子氏（F・F・Fの会代表） 【第 2 部】 意見交換会（各委員会ごと）
9 月 9 日～ 11 月 27 日	議長及び議会選出監査委員を除く議員 20 名で決算特別委員会を設置。詳細な審査を行うため、委員会に 3 つの分科会（総務分科会・教育厚生分科会・産業建設分科会）を置き、委員会が付託を受けた議案のうち、各所管に関する部分を分担して審査した。
11 月 18 日	仁愛大学との懇談会開催

平成 27 年	
1 月 19 日～ 2 月 9 日	<p>「市民と議会との語る会」を開催 (決算審査を踏まえて常任委員会ごとにテーマを設定し、関連する団体を対象とした)</p> <p>1/19 南越森林組合 (産業建設委員会) 1/20 親子教室アップルクラブ (教育厚生委員会) 1/22 家庭教育支援チームオレンジサポーターズ (教育厚生委員会) 1/26 越前市武生地区営農協議会 (産業建設委員会) 1/30 いまだて商業振興協同組合・味真野商業振興連盟・各地区自治振興会 (総務委員会) 2/9 武生商店街連合会・越前市商工会白山支部・越前市壮年協議会・各地区自治振興会 (総務委員会)</p>
10 月 9 日	越前市自治連合会との意見交換会開催
10 月 2 日～ 10 月 21 日	<p>「市民と議会との語る会」を開催 (各常任委員会にて、越前市総合計画に掲げられている各施策の中から、決算審査の際に重点的に審査したい項目を選定。それに関連する市民や団体を対象とした)</p> <p>10/2 (株)エー・オー・シー、サンスイ機工(株)、(株)日輪、(株)名普 (産業建設委員会) 10/9 自治振興会事務局長 (総務委員会) 10/14 公民館館長 (教育厚生委員会) 10/15 地域包括支援センター (教育厚生委員会) 福井鉄道(株)、ヤマトタクシー(株)、武生青年会議所 (総務委員会) 10/21 武生商工会議所青年部 (産業建設委員会)</p>
11 月 4 日	<p>議員研修会を開催 テーマ「会議のあり方について」 【第 1 部】講 義 【第 2 部】ワークショップ「議会の見える化について」</p>
平成 28 年	
2 月 22 日～	3 月定例会から議案をホームページに登載
5 月 17 日～ 5 月 24 日	<p>「市民と議会との語る会」を開催 (各常任委員会にて、平成 28 年 3 月市議会定例会で論議されたことを報告し、その後、設定テーマに沿って意見交換)</p> <p>5/17 総務委員会 (公共交通の整備) 5/20 教育厚生委員会 (地域ぐるみ福祉の推進、健康づくりの推進) 5/24 産業建設委員会 (観光資源としての伝統産業や産地活性化)</p>
6 月 3 日	「議会モニター制度」の導入 (団体推薦 5 名及び公募 3 名に委嘱)
7 月 14 日	<p>議員研修会を開催 (講義) テーマ「質問・質疑のあり方について」</p>

平成 29 年	
1 月 30 日	議員研修会を開催（講義） テーマ「市会議員に期待すること」
5 月 31 日	領収書（政務活動費）をホームページで公開
7 月 4 日～ 7 月 7 日	「市民と議会との語る会」を開催 （各常任委員会にて、設定テーマに沿って意見交換） 7/4 産業建設委員会（工芸の里構想、産地の賑わい創出に向けて） 7/4 総務委員会（免許の自主返納、コミュニティバスについて） 7/7 教育厚生委員会（地域ぐるみ福祉の推進）
8 月 25 日	タブレット端末を導入して全員説明会で初使用
10 月 30 日	議員研修会を開催 福祉健康センター 大会議室 演題「質問力を高める 議会力に生かす」
平成 30 年	
3 月 19 日	議会モニター制度を越前市議会基本条例に位置づける条例改正案を 3 月定例会に議員提案で上程、全会一致で可決。（4 月 1 日施行）

9 正副議長

議 長			副 議 長		
代 位	氏 名	就 任 退 任 年月日	代 位	氏 名	就 任 退 任 年月日
第 1 代	片 粕 正二郎	平 17. 10. 13 平 18. 7. 29	第 1 代	上 山 直 行	平 17. 10. 13 平 18. 7. 29
第 2 代	福 田 修 治	平 18. 7. 31 平 20. 8. 5	第 2 代	西 野 与五郎	平 18. 7. 31 平 20. 8. 8
第 3 代		平 20. 8. 5 平 22. 5. 14	第 3 代	北 野 光 夫	平 20. 8. 8 平 21. 7. 24
第 4 代	金 子 芳 巧	平 22. 5. 14 平 22. 7. 29	第 4 代	前 田 一 博	平 21. 9. 2 平 22. 7. 29
第 5 代	嵐 等	平 22. 7. 30 平 24. 7. 31	第 5 代	伊 藤 康 司	平 22. 7. 30 平 24. 7. 31
第 6 代	福 田 往 世	平 24. 7. 31 平 26. 1. 15	第 6 代	佐々木 富 基	平 24. 7. 31 平 26. 1. 15
第 7 代	佐々木 富 基	平 26. 1. 15 平 26. 7. 29	第 7 代	関 利英子	平 26. 1. 15 平 26. 7. 29
第 8 代		平 26. 7. 30 平 27. 7. 30	第 8 代	川 崎 悟 司	平 26. 7. 30 平 27. 7. 30
第 9 代	城 戸 茂 夫	平 27. 7. 30 平 29. 6. 9	第 9 代	川 崎 俊 之	平 27. 7. 30 平 28. 8. 1

第10代	前田 一博	平 29. 6. 9 平 30. 7. 29	第10代	三田村 輝 士	平 28. 8. 1 平 30. 7. 29
第11代	川崎 悟 司	平 30. 7. 30 現在	第11代	小玉 俊一	平 30. 7. 30 現在

10 歴代市議会議員

第1回(平 17. 10. 1～平 18. 7. 29)

(定数 42 名)

関 利英子	西 野 与五郎	福 田 修 治
井 上 建 次	佐々木 富 基	蔭 山 千代治
城 戸 茂 夫	中 西 眞 三	長谷川 仙一郎
題 佛 臣 一	池 田 芳 男	玉 村 正 夫
宮 川 隆	伊 藤 康 司	上 田 忠 男
小 形 善 信	木 野 勘 治	高 橋 良 光
山 部 忠 宏	北 野 光 夫	前 田 修 治
川 崎 悟 司	上 山 直 行	玉 川 喜一郎
椿 原 惠	林 忠 男	山 本 清 内
安 立 里 美	山 崎 隆 敏	金 子 芳 巧
山 田 芳 則	関 正 美	前 田 眞
前 田 一 博	増 田 太左衛門	伊 藤 藤 夫
福 田 往 世	嵐 等	片 粕 正二郎
田 中 祐 治	上 田 伸 治	宮 本 義 利
井 上 建 次	平 17. 10. 26 失職	
増 田 太左衛門	平 17. 10. 30 失職	

第2回(平 18. 7. 30～平 22. 7. 29)

(定数 24 名)

吉 田 慶 一	北 野 光 夫	上 山 直 行
細 川 かをり	佐々木 富 基	福 田 修 治
三田村 輝 士	伊 藤 康 司	嵐 等
川 崎 悟 司	大久保 恵 子	前 田 修 治
関 利英子	西 野 与五郎	玉 村 正 夫
題 佛 臣 一	福 田 往 世	金 子 芳 巧
小 形 善 信	前 田 一 博	玉 川 喜一郎
城 戸 茂 夫	中 西 眞 三	片 粕 正二郎
北 野 光 夫	平 21. 7. 24 辞職	
川 崎 俊 之	平 21. 10. 18 補欠当選	

第3回(平 22. 7. 30~平 26. 7. 29)

(定数 22 名)

安 立 里 美	川 崎 悟 司	前 田 修 治
吉 田 慶 一	西 野 与 五 郎	嵐 等
三 田 村 輝 士	中 西 眞 三	福 田 修 治
川 崎 俊 之	大 久 保 惠 子	玉 川 喜 一 郎
題 佛 臣 一	前 田 一 博	片 粕 正 二 郎
小 形 善 信	福 田 往 世	佐々木 富 基
関 利 英 子	伊 藤 康 司	
城 戸 茂 夫	玉 村 正 夫	
大 久 保 惠 子 平 25. 10. 13 失 職		

第4回(平 26 . 7. 30~30. 7. 29)

(定数 22 名)

大 久 保 健 一	安 立 里 美	伊 藤 康 司
清 水 和 明	川 崎 俊 之	佐々木 富 基
吉 村 美 幸	三 田 村 輝 士	福 田 往 世
小 玉 俊 一	小 形 善 信	前 田 修 治
加 藤 吉 則	城 戸 茂 夫	片 粕 正 二 郎
霜 実 男	川 崎 悟 司	前 田 一 博
佐々木 哲 夫	中 西 眞 三	
吉 田 啓 三	西 野 与 五 郎	

第5回(平 30 . 7. 30~現在)

(定数 22 名)

中 西 昭 雄	加 藤 吉 則	城 戸 茂 夫
砂 田 竜 一	大 久 保 健 一	小 形 善 信
清 水 一 德	吉 田 啓 三	前 田 一 博
桶 谷 耕 一	川 崎 俊 之	前 田 修 治
近 藤 光 広	題 佛 臣 一	片 粕 正 二 郎
橋 本 弥 登 志	三 田 村 輝 士	川 崎 悟 司
小 玉 俊 一	安 立 里 美	
吉 村 美 幸	大 久 保 惠 子	

11 議員名簿

別樣E x c e l 表

11 議員名簿

議 長 川崎 悟司

副議長 小玉 俊一

平成30年8月1日現在

議席 番号	氏 名	住 所	電話番号	所属委員会	所属会派	当選 回数
				常任委員会		
1	中西 昭雄	家久町63-11-1	25-6115	○教育厚生	未馬会	1
2	砂田 竜一	平出二丁目33-2	29-3535	○産業建設	市民ネットワーク	1
3	清水 一徳	新在家町11-11-1	42-0461	○総務	未馬会	1
4	桶谷 耕一	国府二丁目3-15	22-6222	産業建設	諸派	1
5	近藤 光広	野上町1-41-2	24-0758	産業建設	○未馬会	1
6	橋本 弥登志	牧町14-21	28-1012	総務	未馬会	1
7	小玉 俊一	栗田部町42-3	42-0335	教育厚生	市民ネットワーク	2
8	吉村 美幸	広瀬町133-4-1	22-0575	教育厚生	諸派	2
9	加藤 吉則	宮谷町66-36-1	27-1044	産業建設	日本共産党議員団	2
10	大久保 健一	上太田町28-12	23-1219	◎教育厚生	○誠和会（自民）	2
11	吉田 啓三	西尾町16-21-18	27-2602	◎総務	○市民ネットワーク	2
12	川崎 俊之	矢船町2-9-1	24-0205	教育厚生	誠和会（自民）	4
13	題佛 臣一	小野谷町4-3-2	21-0203	教育厚生	志政会	4
14	三田村 輝士	余川町31-11	27-1837	教育厚生	市民ネットワーク	4
15	安立 里美	御幸町14-18	22-7675	◎産業建設	政新会	4
16	大久保 恵子	北府3-3-18	22-5544	総務	諸派	5
17	城戸 茂夫	京町一丁目2-12	22-0516	総務	政新会	5
18	小形 善信	塚町31-9	22-3118	産業建設	○志政会	5
19	前田 一博	中津山町22-1	43-1567	産業建設	誠和会（自民）	6
20	前田 修治	国高三丁目12-9	23-8485	総務	○日本共産党議員団	8
21	片粕 正二郎	月見町63	23-3247	総務	誠和会（自民）	9
22	川崎 悟司	矢船町4-1	22-3242		政新会	5

[当選回数は合併前を含む]

所属委員会は◎委員長○副委員長
所属会派は○代表者